

別記様式第3号（第16条関係）

提案型公共サービス民営化制度 協議及び審査結果表

団体及び 代表者氏名	ふくちやまCAP
事業名	子どもが自分の心と体を守る暴力防止のための予防教育事業
事業所管課	教育委員会事務局学校教育課

1 エントリー段階（※制度所管課が記入して提案者へ連絡）

主な協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案内容の確認 ・ 構成員の確認
協議結果	<input checked="" type="checkbox"/> エントリーシート受理 <input type="checkbox"/> 不受理
	(不受理の場合の理由)
事業所管課	教育委員会学校教育課

2 提案内容の詳細に係る協議（事業所管課が記入→提案者の確認→制度所管課へ提出）

主な協議内容	<p>【令和4年7月21日（木）】 エントリーシートにより提案内容の説明を受けた。資料印刷にかかる負担や対象学年の範囲等、事業担当課の考え方を整理することとした。</p> <p>【令和4年8月31日（水）】 提案事業がどのようにいじめ防止につながるか、また、経費や事務負担について協議した。</p> <p>【令和4年9月21日（水）】 事業計画や収支計画について内容確認を行い、交通費の算出について改めて調整することとした。</p> <p>【令和4年9月30日（金）】 提案書の記載内容について最終確認、共有を図った。</p>
--------	---

協議結果	<input checked="" type="checkbox"/> 委託事業として審査する <input type="checkbox"/> 次年度へ向けて継続協議 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 協議不成立
	(決定に至る理由、特記事項等) 提案者のノウハウを生かしたワークショップは、さまざまな暴力から子ども自らの権利や命を守る方法を学ぶ貴重な機会であり、本市の自殺対策計画に定める「SOSの出し方に関する教育」の実施につながるものである。本市の従来からの取組に加えて、今回の提案事業を加えた形で実施することにより、子どもが関わるネットトラブルの防止と、あらゆるいじめや人権侵害を許さない本市の風土づくりへの効果が期待できるため。

3 審査結果（制度所管課が記載し、提案者及び所管課へ連絡）

実施日時	令和4年10月24日
主な指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・CAPプログラムという行政にはない独自のノウハウを生かした提案である。 ・CAPプログラム実施校が増えるに従い、事業をサポートする方が必要となるので、CAPスペシャリストの養成や地域での担い手を増やしていく取組をお願いしたい。
審査結果	<input checked="" type="checkbox"/> 採択（条件 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無） <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> その他（ ） (条件、特記事項、不採択の場合は理由) <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業で行っている「いじめ防止講演会」や「ネットトラブルストップ講座」と連携し、相乗効果が生まれるような事業展開を行うこと。 ・事業費の精査を行うこと。

注1) 協議や審査の段階ごとに必要な事項を記入すること。

注2) 審査終了後、この別記様式は制度所管課、事業所管課、提案者の確認を得た上で公表する。